

TECHNOLOGY
FOR THE FUTURE

技術によって未来をつくる。

2025年3月期第2四半期 決算説明会

2024年10月31日 株式会社MARUWA (5344)

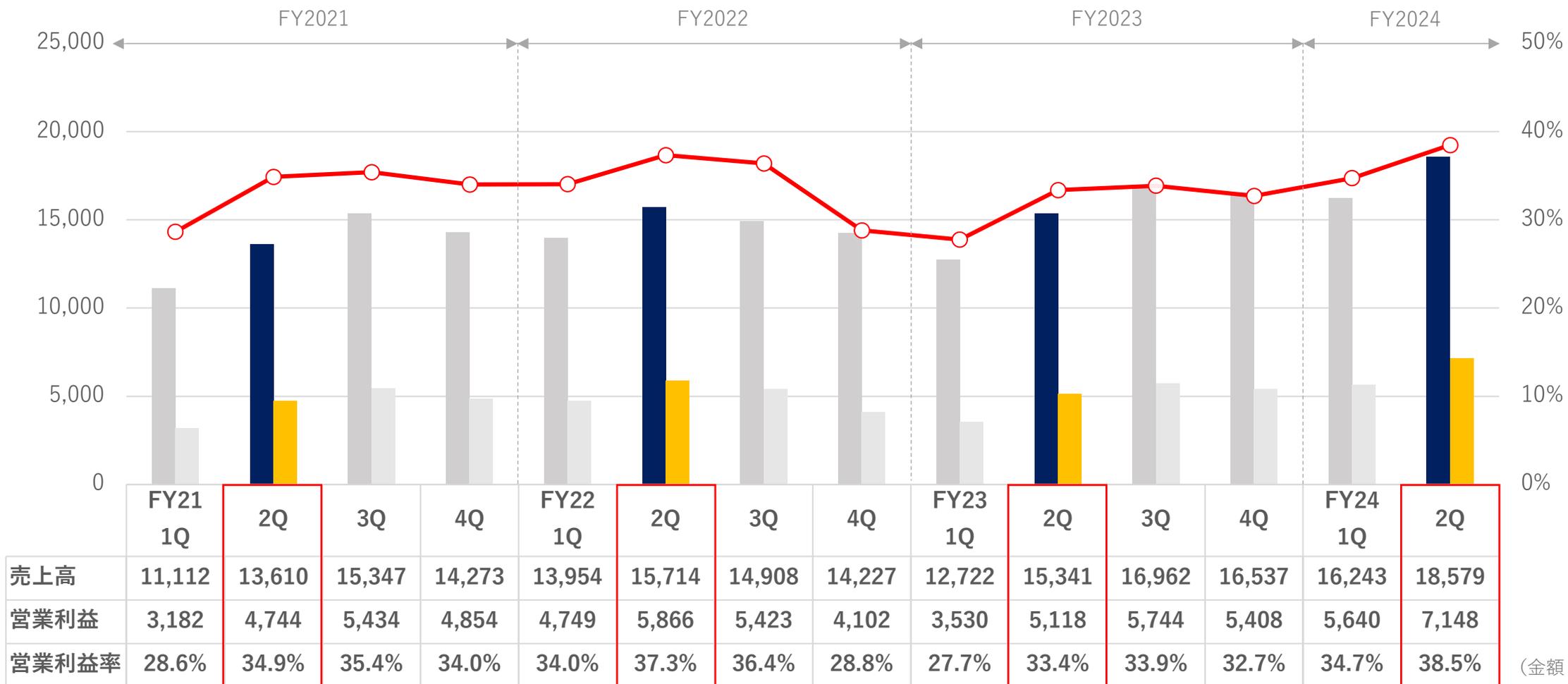
1. 決算概要

	FY2024 1H(4~9月)		FY2023 1H(4~9月)
		対前期増減 YoY	
売上高	34,822	+ 24.1%	28,063
営業利益	12,789	+ 47.9%	8,649
経常利益	11,999	+ 24.8%	9,616
中間純利益	8,440	+ 24.5%	6,777

(金額：百万円)

2. 四半期業績

- 四半期として過去最高の業績を更新
- 新エネルギー車向けや次世代高速通信向けが業績を牽引



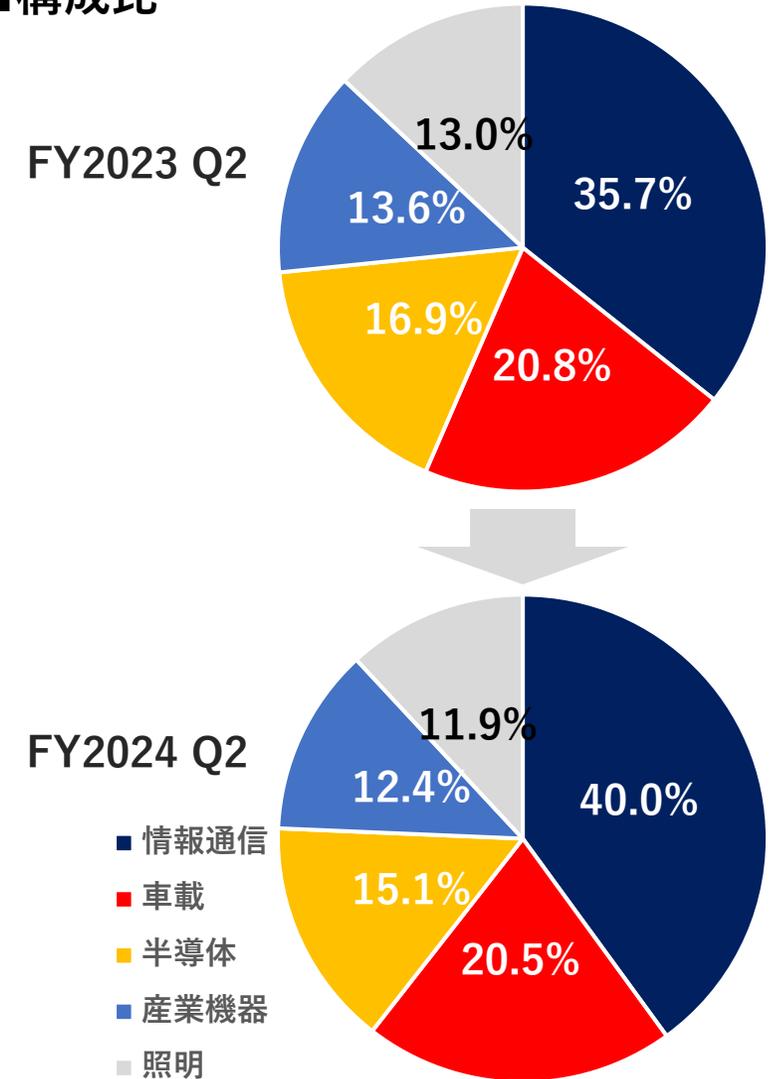
3. 市場別売上高

■市場別売上高

- 情報通信：次世代高速通信向けの業績が拡大
- 車載：新エネルギー車向けが堅調に推移
- 半導体：生成AI需要を背景に、需要増加傾向

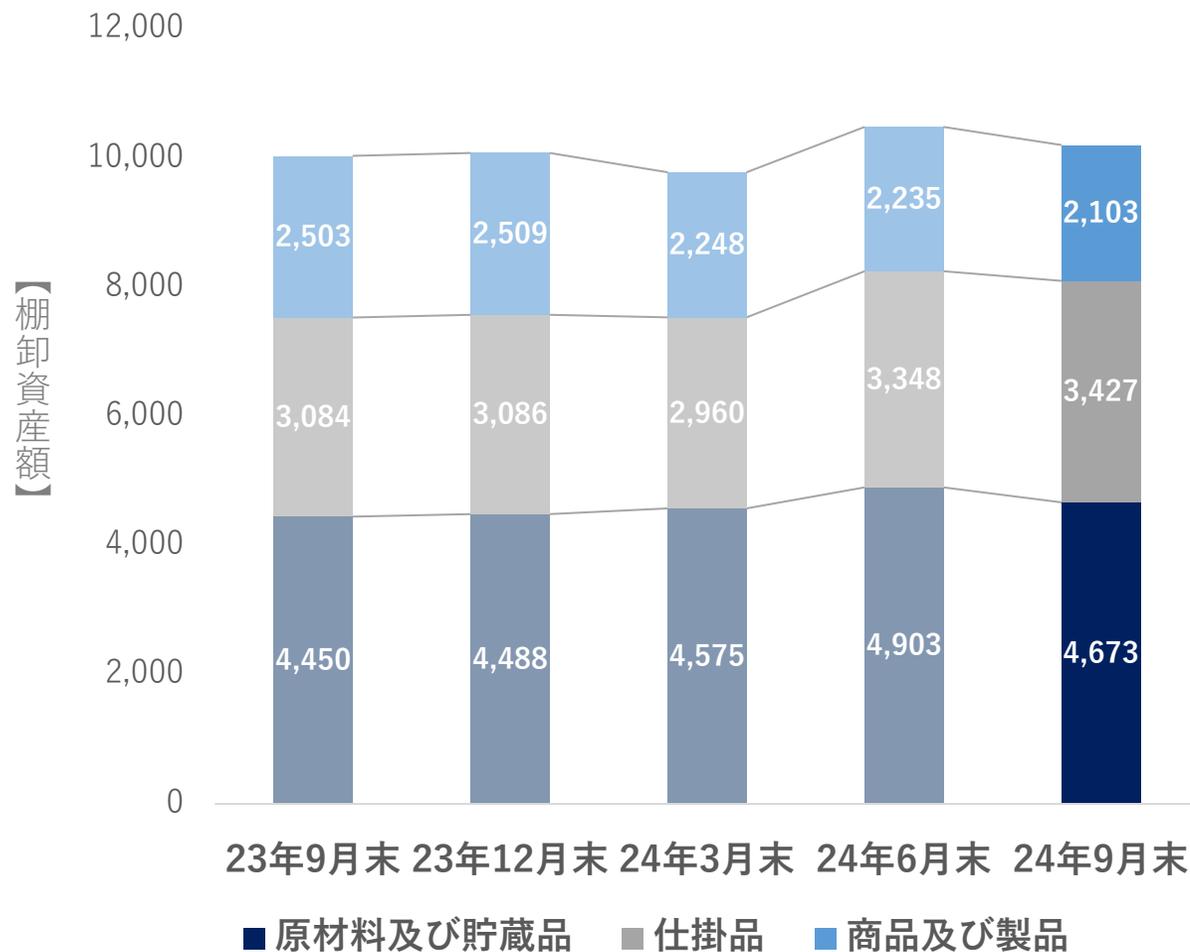
	FY2024 Q2		FY2023 Q2
		YoY	
情報通信	74億円	+ 35%	55億円
車載	38億円	+ 19%	32億円
半導体	28億円	+ 8%	26億円
産業機器	23億円	+ 10%	21億円
照明	22億円	+ 10%	20億円

■構成比



※上記は、市場別売上高の概数の速報値となります。

4. 棚卸資産



■ 原材料及び貯蔵品は、受注増加に対応するため戦略的な確保を継続

■ 棚卸資産総額は、正常の範囲内での運用を継続中

(金額：百万円)

5. 今後の見通し（市場動向・当社動向）

市場	状況
車載	<ul style="list-style-type: none">・ PHEV及びHEV含めた新エネルギー車向けは堅調な需要が続く見通し。・ 需要に対応するため、工場建設による生産体制の強化に注力。
情報通信	<ul style="list-style-type: none">・ 次世代高速通信関連は一層の強い需要が期待される。
半導体製造装置	<ul style="list-style-type: none">・ 汎用メモリー市場の本格回復は来期にずれ込む見通し。・ 一方で、生成AI関連は需要が拡大傾向。

適切な時期に**通期業績見直しの修正**を行う

- 上期業績は好調で、足元の進捗も順調
- 一方で、当社事業を取り巻く環境は引き続き不透明
…日米の政治動向、各国の金融政策、地政学リスクetc.



今後、各種動向を踏まえ、
適切な時期に**通期業績予想の修正**を検討

【参考】現行見直し(2024年4月25日公表)

	通期	
		YoY
売上高	70,300	+14.2%
営業利益	23,000	+16.2%

(金額：百万円)

※為替前提 1ドル=147円

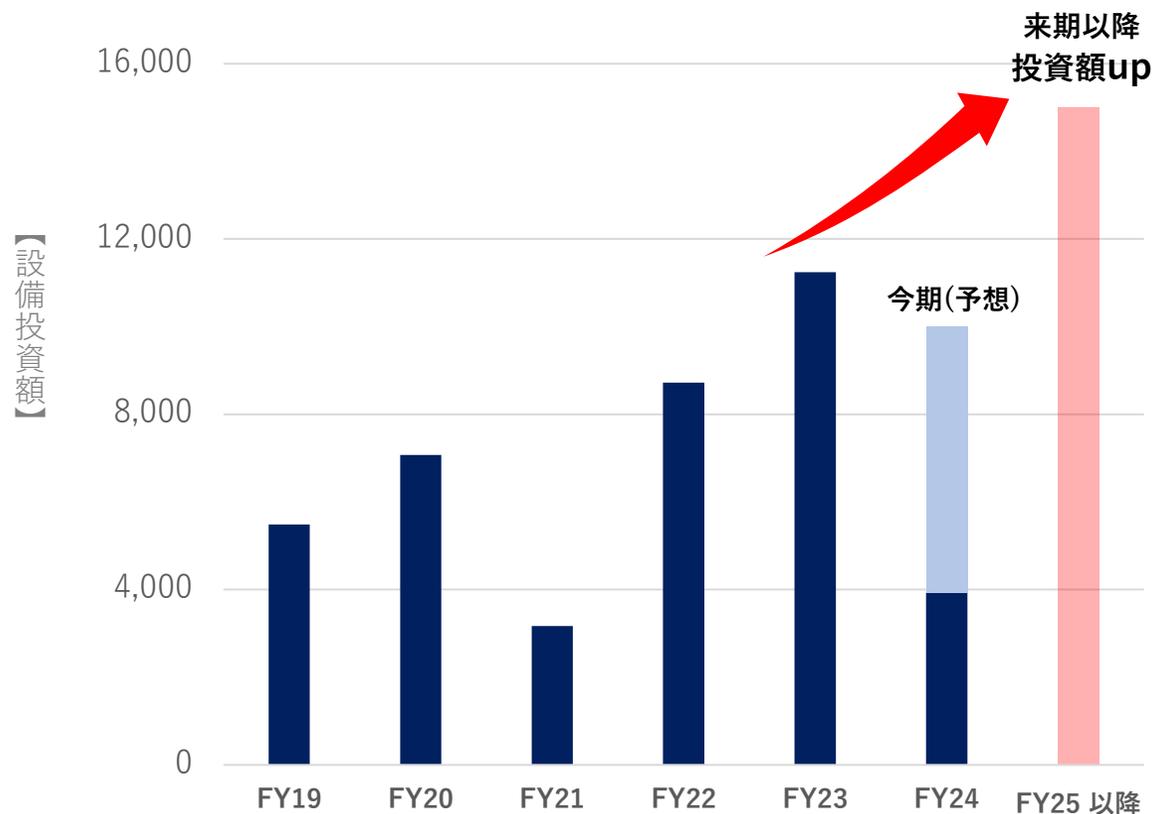
※「経常利益」、「親会社に帰属する当期純利益」については、主に為替要因により変動することが想定され、現時点で為替動向が不透明なため、見直しの記載を省略しております。

7. 設備投資・減価償却

■設備投資

■ 中長期での成長に向けた新工場・新棟への投資、生産性向上・品質向上に向けた投資

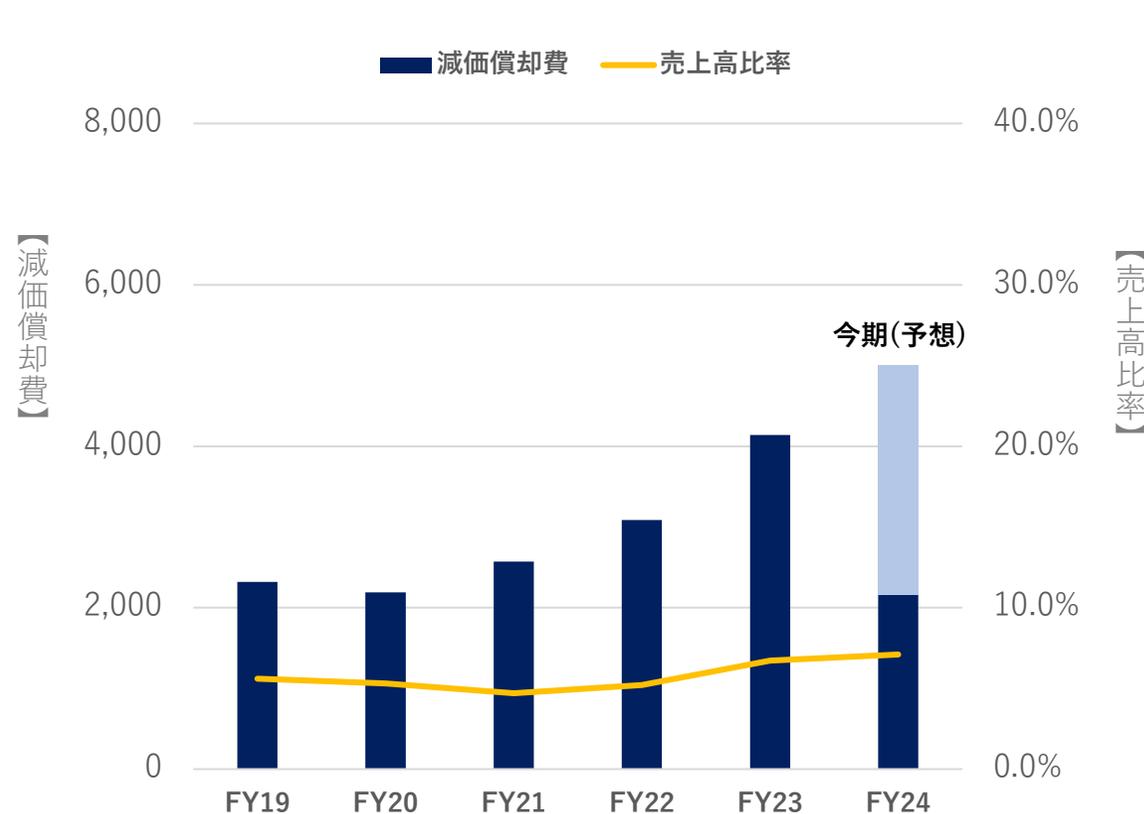
■ 新工場計画は順調に進捗中



(金額：百万円)

■減価償却

■ 競争力・生産性の向上に着実に繋がっていく



8. 配当

- 今期で12期連続増配の予定
- 今後も安定した連続増配を目指す

1株当たり配当額
年間 **94 円**(予定)

